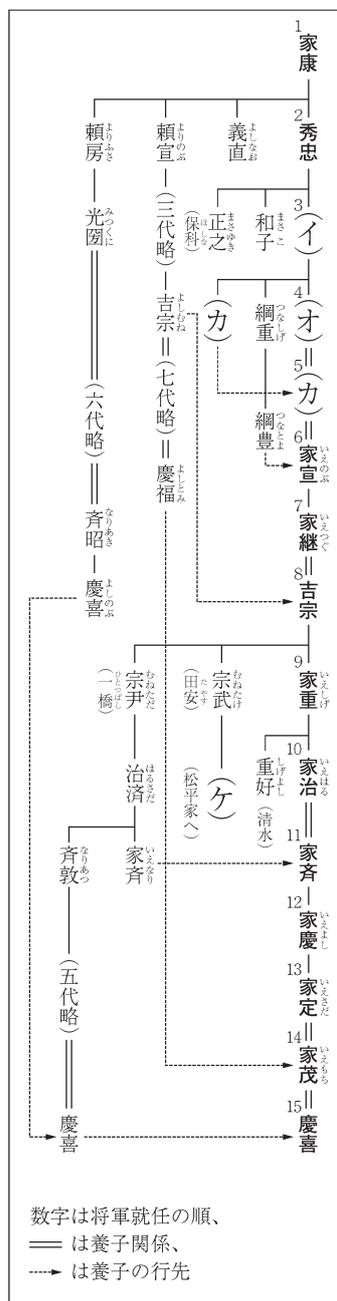


日 本 史 探 究

第1問 次の①～⑩は、古代～中世の主要な政治的事件（合戦含む）の年代（西暦）、発生した場所（地名）、関係した人物各3名を示したものである。政治的事件の名称をそれぞれ答えよ。

- | | | | | | |
|---|-------|----|------|------|----------|
| ① | 794年 | 京都 | 桓武天皇 | 早良親王 | 藤原種継 |
| ② | 842年 | 京都 | 橘逸勢 | 藤原良房 | 伴健岑 |
| ③ | 969年 | 京都 | 源満仲 | 源高明 | 冷泉天皇 |
| ④ | 1051年 | 奥羽 | 源頼義 | 藤原経清 | 安倍貞任 |
| ⑤ | 1159年 | 京都 | 源義朝 | 平清盛 | 藤原通憲（信西） |
| ⑥ | 1247年 | 鎌倉 | 三浦泰村 | 北条時頼 | 藤原頼経 |
| ⑦ | 1285年 | 鎌倉 | 安達泰盛 | 平頼綱 | 北条貞時 |
| ⑧ | 1335年 | 鎌倉 | 北条時行 | 護良親王 | 足利直義 |
| ⑨ | 1438年 | 鎌倉 | 足利持氏 | 足利義教 | 上杉憲実 |
| ⑩ | 1441年 | 京都 | 足利義教 | 赤松満祐 | 山名持豊 |

第2問 図は徳川氏の系図であり、名前に付された数字は将軍就任順を示す。次の文章を読み、空欄ア～コに入る適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。



関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、1603年に征夷大将軍の宣下を（ア）天皇からうけ、江戸に幕府を開いた。家康は、1605年に子の秀忠に将軍宣下をうけさせ、将軍職が徳川氏の世襲であることを諸大名に示した。

秀忠は、1623年に将軍職を（イ）に譲り、秀忠自身は（ウ）として幕府権力の基礎固めを行った。1620年には、秀忠の娘である和子（東福門院）を（ア）の子である（エ）天皇に入内させた。（エ）天皇は1629年の紫衣事件をきっかけに幕府の同意なく譲位した。

（イ）は1651年に死去し、（オ）が11歳で4代将軍となったが、後継ぎがないまま死去したため、（イ）の四男で（オ）の弟にあたる（カ）が5代将軍となる。（カ）が政権を取っていたころには、いわゆる元禄文化が発展している。（カ）は仏教に帰依し、生類憐みの令を出したことでも知られる。

（カ）の後を継いだのは家宣だったが、在職3年あまりで死去し、その後をついだ家継は3歳だった。この6～7代の短命、幼少の将軍が続くなか、朱

子学者の（キ）は正徳の政治と呼ばれる政治刷新をすすめ、閑院宮家を設立、正徳小判の铸造などを行った。

1716年に家継が8歳で死去し、徳川本家が途絶えると三家のひとつである（ク）藩主であった吉宗が8代将軍となった。

11代の家斉は、三卿のひとつ一橋家から将軍となったが、家斉の補佐として老中に就任したのが松平（ケ）であった。松平（ケ）は吉宗の孫にあたり、白河藩松平家の養子となっていた。

慶喜は（コ）藩主の徳川斉昭の七男で1847年に一橋家を継ぎ、のちに家茂の後を継いで最後の将軍となった。

【語群】

あ、綱吉	い、側用人	う、執権	え、定信	お、正親町
か、家光	き、柳沢吉保	く、明正	け、家達	こ、荻原重秀
さ、大岡忠相	し、後陽成	す、尾張	せ、紀伊	そ、家綱
た、水戸	ち、秀忠	つ、大御所	て、後水尾	と、新井白石

第3問 次の(1)~(5)の文章を読み、設問に答えよ。

- (1) 近世までの琉球王国は、薩摩藩の支配をうけつつも、清朝の中国を宗主国としていた。明治維新期の1872年、日本政府が琉球藩を置き、国王だった（ア）を藩王としたことに対し、清朝中国は宗主権を主張して強く抗議した。その後、1879年になると、日本政府は琉球藩の廃止と（イ）県の設置を断行し、琉球王国は消滅した。
- (2) 近世後期・幕末から明治維新後にかけての対外関係上の争点としては、ロシアとのあいだの国境画定問題もあった。日本は1875年、ロシアと樺太（サハリン）・（ウ）交換条約をむすんだ。その後、1904年から翌年にかけての日露戦争の講和条約では、北緯50度以南の樺太と付属の諸島が日本に譲渡されることになった。
- (3) 第二次世界大戦中の1944年、アメリカ軍は日本軍の支配下にあったフィリピンのレイテ島を制圧したあと、①翌年2月から小笠原諸島方面へ、4月から（イ）方面へ侵攻していった。一方、1945年2月にクリミア半島の（エ）で開かれた、アメリカ・イギリス・ソヴィエト連邦の3か国首脳会談では、南樺太と（ウ）列島をソ連に引き渡す密約が結ばれた。
- (4) 第二次世界大戦で降伏した日本は、連合国軍の占領をうけたあと、1951年9月のサンフランシスコ対日講和会議で国際社会復帰の第一歩をきざんだ。しかし、日本がこの時点で、戦争状態にあった国々すべてと平和と国交の回復を果たせたわけではない。ソ連との国交回復は、1956年10月になってからである。しかも、領土問題をめぐる日ソ両国の立場の違いは大きかった。日本は、北方の（オ）島・択捉島・（カ）島・歯舞諸島はすべて「固有の領土」であるとして、返還を要求した。対して、ソ連は（オ）島・択捉島の帰属については「解決済み」との姿勢をとった。

(5) 1952年4月のサンフランシスコ対日平和条約発効により、日本は占領を脱したものの、ひきつづき、アメリカの施政権下に置かれたところがあった。小笠原諸島や北緯29度以南の南西諸島（琉球諸島と大東諸島を含む）などである。冷戦という国際情勢のなか、(イ)はアメリカの占領下で「基地の島」になっていく。東アジアで冷戦が「熱戦」化した(キ)戦争で、1965年からアメリカが軍事介入を本格化させるなか、(イ)では軍用地の接収がさらに進んだこともあり、「祖国復帰」を求める運動も高まっていった。その後、日米両政府間の交渉をへて、②(ク)年6月に(イ)返還協定が成立し、翌年5月に協定は発効した。しかし、アメリカ軍の広大な基地は今なお、残ったままである。

【設問】

問1 空欄ア～クに入る適切な語句を答えよ。クは西暦で答えよ。

問2 次の文章は、下線部①について説明したものである。空欄ケに入る適切な語句を答えよ。

いまの東京都小笠原村に属している(ケ)島は、1945年2月から3月にかけて、日米戦争の激戦地となったことで知られる。この島での戦いを題材とした映画の1つに、2006年に公開された、クリント・イーストウッド監督作の『(ケ)島からの手紙』がある。また、(ケ)といえば、古代・中世移行期にあたる平氏政権のもとでの日宋貿易で、日本から輸出していたものの1つであった。

問3 下線部②について、当時の日本の内閣総理大臣(首相)はだれかを答えよ。

第4問 次の文章の空欄ア～コに入る適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。

10～11世紀にかけては、美術工芸の面でも国風化の傾向は著しかった。貴族の住宅は、白木造・(ア) 葺で開放的な寝殿造と呼ばれる日本風のものになった。内部の屏風など建物内部の仕切りには、唐絵とともに、日本の風物を題材とし、なだらかな線と上品な彩色とを持つ(イ) 絵も描かれた。初期の(イ) 絵の画家としては、巨勢(ウ) が知られている。屋内の調度品にも、漆器に漆で文様を描き、それに金・銀などの金属粉をまきつけて模様とする(エ) の手法が多く用いられ、はなやかななかにも落ちついた趣をそえた。書道も、前代の唐様に対し、優美な線をあらわした和様が発達し、小野(オ)・藤原佐理・藤原(カ) の三跡と呼ばれる名手が現れた。浄土教の流行にともない、これに関係した各種の美術作品が数多くつくられた。藤原(キ) が建立してその壮麗さをうたわれた(ク) 寺は、阿弥陀堂を中心とした大寺であり、その子藤原(ケ) の建立した平等院鳳凰堂は阿弥陀堂の代表的な遺構である。その本尊の阿弥陀如来像は、柔和で気高い姿をしており、これをつくった(コ) は当時もっとも有名な仏師であった。

【語群】

あ、道風	い、野足	う、定朝	え、金岡	お、法界
か、道長	き、瓦	く、浮世	け、大和	こ、実資
さ、法成	し、道綱	す、濃絵	せ、頼長	そ、檜皮
た、快慶	ち、行成	つ、頼通	て、好古	と、蒔絵